



名古屋市唯一の福祉系の高校！

名古屋市立西陵高等学校

ふくし系列では、生活の中にある「ふくし」を4つの分野に分けて広く学びます。

子どもの「ふくし」



人の誕生から、子どもに関わる福祉専門職について体験的に学びます。

障がいの「ふくし」



障がいの当事者の方、そして当事者を支える人たちから学びます。

高齢者の「ふくし」



地域の高齢者たちとの交流、これからの福祉や介護について考えます。

地域の「ふくし」



安心・安全、そして暮らしやすい生活や地域について学びます。

2年生からはコースを選択できます！

ケアサポートコース

子ども・障がい・高齢者・地域など
幅の広い福祉を学ぶ

取得可能な資格（一部）

- ・介護職員初任者研修（公的資格）
- ・福祉住環境コーディネーター3級（選択科目）
- ・普通救命講習（名古屋市消防局）
- ・社会福祉・介護福祉検定3級（全国福祉高等学校長会主催）



介護福祉士コース

介護福祉士になるための
専門的な知識・技術を身につける

取得可能な資格（一部）

- ・介護福祉士（国家試験受験資格・医療的ケア基礎研修）
- ・介護職員初任者研修（公的資格）
- ・福祉住環境コーディネーター2級
- ・普通救命講習（名古屋市消防局）
- ・社会福祉・介護福祉検定1～3級（全国福祉高等学校長会主催）

介護福祉士国家試験・新カリキュラム実施後
11年連続合格率100%（全国1位）



福
しん
びん

福祉のお仕事新聞

名古屋版

2025年12月

発行：特定非営利活動法人
未来人財開発プロジェクト
TEL:052-325-2220

制作：株式会社 大井企画

未来人財開発
プロジェクト

特定非営利活動法人（NPO法人）
未来人財開発プロジェクトとは？
青少年・就職・転職及び復職希望者に対して、人材育成に関する事業を行い、雇用に係る問題の改善を図り、エンプロイアビリティ（雇用される能力）の向上と社会資産の増進に寄与することを目的とする法人です。



今回の取材にお伺いした法人様のご紹介



社会福祉法人

青山里会
SEIZANRIKAI

社会福祉法人

せいざんりかい
青山里会

<https://seizanrikai.jp/>



三重県四日市市を中心に老人福祉施設を運営している法人です。「人々が住みなれた場所、暮らし続けたい場所で、豊かに、安心して暮らせる街づくり」を目指し、介護保険制度内のサービスに限らない独自のサービス開発など多岐にわたる活動を行っています。



地域密着型介護老人福祉施設

びわじま介護センター

名古屋市西区枇杷島 2-19-18

（名鉄「東枇杷島」駅より徒歩5分）

TEL：052-528-4851

- ・地域密着型介護老人福祉施設（29名）
（特別養護老人ホーム）
- ・ショートステイ（9名）
- ・小規模多機能型居宅介護（25名）
- ・サービス付き高齢者向け住宅（9名）

今回取材させていただいた施設。

2014年7月に開設され、小規模ならではの利点を活かした地域密着型の施設として、多様なサービスを提供しています。誰もが住み慣れた地域の中で安心して暮らせるよう地域の方とも連携しながら運営されています。



西 区

社会福祉法人青山里会

びわじま介護センター



今回は西陵高校ふくし科の生徒達が訪れたのは名古屋市西区の「びわじま介護センター」。

びわじま介護センターは、特別養護老人ホーム・ショートステイ・サービス付き高齢者向け住宅・小規模多機能型居宅介護の4つのサービス事業を展開しています。利用者様の状況に合わせて幅広く利用できる施設となっています。

今回は、初めに吉田施設長に法人や施設・サービスの説明をしていただき、それから施設内の見学をさせていただきました。

生徒達は、初めて訪問する施設で、リアルな介護現場や福祉用具、最新機器をみて、授業で習ったことと照らし合わせながら学びが増えている様子でした。施設の職員さんや入居者様にも温かく迎えられる、楽しく見学していました。

びわじま介護センターの大きな特徴である小規模多機能型居宅介護

「小規模多機能型居宅介護」とは、在宅での生活が継続できるように支援する、小規模な居住系サービスの施設です。

デイサービスに加えて、訪問介護やショートステイを組み合わせて、生活の支援や機能訓練を行い、中度になっても在宅で生活が継続できるように支援するサービスです。



見守り支援システム「aams」

進化する KAIGO

昨今、さまざまな施設で介護ロボットが導入されたことにより、職員の負担は大きく下がっています。今回はびわじま介護センターでも導入されている見守り支援システム「aams」を紹介していただきました。

iPad による介護業務の効率化

入居者の睡眠状態やバイタルが iPad にデータとして送信・可視化されるので「この方はいつ起きるか」「今ベッドにいるか」等がしっかり管理されています。

入居者が目を覚ました際には一時的に室内カメラの映像も見られるので「ただ少し目が覚めただけなので介助は不要」「トイレへ行こうとしているので介助が必要」といった状況判断を居室を訪れて確認することなくでき、職員の業務の効率化にも大きく貢献しています。



入居者様にもしっかり配慮

入居者の状況はベッドの下に収納されたセンサーで間接的に感知。ベッドをめくらない限り視界に入ることもなく、体に直接触れることもないため、睡眠の妨げになることもありません。

カメラも常に監視しているわけではなく、起床直後や何か異変があった時以外は基本的にオフになっているので、プライバシー面も安心です。



座学では分からない 良い経験ができました

2年 田村 悠依

今回の見学で実際に高齢者の方や介助者の方と関わり、座学だけではわからなかった実際の利用者さん同士の関わり方や職員さんの負担を減らすためにどんな事がされているのかを詳しく知る機会になりました。それだけでなく、介護用具が実際に動いているところを見せていただけて施設での生活がより具体的にイメージできるようになりました。そして利用者さんがすごく優しく接してくださって、こちらまで温かい気持ちになりました。

今回の見学で得た事を今後の実習までに自分のものにしていきます。

曾祖母のような方がどんな生活をしているか知ることができました

2年 峰 優羽

今回初めて介護施設に行きました。職員の方や利用者の方が笑顔で暖かく挨拶をしてくださりとても嬉しかったです。

今回の見学で、大まかな仕組みや、利用者の方との関わり方やどういった生活をしているのかなどを実際に見て学ぶことが出来ました。

私の曾祖母は自力で歩くことが困難なため車椅子を利用していました。そのため、自宅ではお風呂に入ることが出来なかったため、デイサービスやショートステイなどを利用してお風呂に入れてもらっていました。しかし、どのようにお風呂に入っているのかわかりませんでした。

今回施設を見学させてもらい、寝たままや座ったままでもお風呂に入ることが出来ることを知りました。お風呂に入れたら、私も利用者の方にも嬉しそうにしていたので、私も利用者の方に喜んでいただけるような技術を身に付け、びわじま介護センターの職員の方のように利用者の方と笑顔で接し、コミュニケーションを大切にしていきたいと思っています。

柔らかな環境の中でも貴重な経験になりました

2年 柴田 奈々

今回の見学で、職員さんや利用者さんがあいさつをしてくださりとても優しく、柔らかな雰囲気だなと思いました。さらに、今まで学んできた、特別養護老人ホームや小規模多機能型居宅介護などの施設を実際に見ることができ、利用者さんや職員さんがどのような環境で過ごしているのかを新しく学ぶことができました。それぞれのサービスの費用や見守りシステムなどについては知らないことが多く、とても貴重な経験になりました。

この経験を実習で最大限に生かしていきたいと思っています。

介護の仕事の大変さとやりがい 改めて感じられました

2年 高林 紗彩

見学を通して、利用者の方々と職員さんの温かなやり取りを間近で見ることができ、大変勉強になりました。職員の方々が一人ひとりに寄り添い、丁寧に接している姿が印象的で、介護の仕事の大変さとやりがいを感じました。

また、施設内の清潔さや設備の工夫など、利用者が安心して過ごせる環境づくりに感じました。浴槽も様々なものがあり、色々な方が入浴できるようなシステムになっていて驚きました。夏休みから始まる実習では、今回の見学で学んだことを生かし、積極的に行動しながら多くを学びたいと思います。

